

調査REPORT

2021. 7. 30

2021 年 4-6 月期 GDP 予測について

フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一 研究員 前田 和孝

1. 4-6 月期実質 GDP 成長率は 2 四半期ぶりのプラスを予想

内閣府から8月16日に発表予定の2021年4-6月期実質GDP成長率は、前期比+0.1%(年率換算:+0.6%)と、2四半期ぶりにプラスに転じたと予想する。コロナ感染再拡大に伴う緊急事態宣言延長の影響で個人消費が落ち込んだものの、設備投資や輸出が下支えしたとみる。

2. 個人消費は落ち込むも、設備投資等が持ち直す

3. 7-9 月期は小幅のプラスにとどまる見込み

7-9月期の実質 GDP 成長率は、緊急事態宣言の対象地域に新たに 4 府県が追加され、期限も8月末まで延長されたことから、小幅のプラスにとどまるとみる。もっとも、ワクチン接種のペースは加速しており、10月末までには希望者がほぼ接種終了となる見通しである。当面は感染者の拡大傾向が続くとしても、秋口以降は減少に向かう展開が期待できる。宣言の長期化によりペントアップディマンド(繰り越し需要)も着実に蓄積されている。日本の輸出をけん引してきた中国経済は足元でやや翳りが見られるものの、米国向け輸出は回復に向かっており、欧州向けも今後回復に向かう可能性が高い。反動増的な個人消費の盛り上がりや堅調な外需が下支え役となり、日本の景気は、年後半にかけて回復基調で推移するというのがメインシナリオである。

実質GDP成長率予測

					→予測	
(前期比:%)	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	
						寄与度
実質GDP	-8.1	5.3	2.8	-1.0	0.1	_
前期比年率	-28.6	22.9	11.7	-3.9	0.6	_
民間最終消費支出	-8.3	5.1	2.2	-1.5	-0.3	-0.2
民間住宅投資	0.6	-5.7	0.0	1.2	4.7	0.2
民間設備投資	-6.1	-2.1	4.3	-1.2	3.1	0.5
政府最終消費支出	0.2	2.9	1.8	-1.1	0.5	0.1
公的固定資本形成	2.2	0.8	1.3	-0.5	-1.5	-0.1
民間在庫品増加(寄与度)	0.1	-0.2	-0.5	0.4	-	-0.2
純輸出(寄与度)	-2.8	2.6	1.0	-0.2	ı	-0.1
財貨・サーヒ、スの輸出	-17.5	7.3	11.7	2.2	2.6	0.5
財貨・サーヒ、スの輸入	-0.7	-8.2	4.8	3.9	3.4	-0.6
内需(寄与度)	-5.2	2.6	1.8	-0.8	-	0.3
名目GDP	-7.8	5.6	2.4	-1.3	0.0	-
前期比年率	-27.7	24.1	10.1	-5.1	0.0	-
GDPデフレーター(前年同期比)	1.4	1.2	0.2	-0.1	-0.4	-

(出所) 内閣府より明治安田総研作成

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。 掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。 掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●照会先● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411